

## 国保病院 院長 川岸先生にインタビューしました！

○総合診療について 今、地方の医療は、総合診療が主流です。科を分けず、あまねく病気を診るスタンスで、基本的に何でも診ます。専門性が必要な場合は、専門医を紹介します。後志管内でも、黒松内町、倶知安町などやっている所は多く、これからの地域医療の形です。

○発熱外来について 同じ屋内で感染症を診ることは、リスクが大きいので、別の棟、建物でやらなければなりません。別の棟というと、疎外感、風評もあり、嫌な思いもさせられてしまいますが、感染症は、持ち込まないことが基本なので、中ではグリーンゾーン、レッドゾーンに分け、万全の対応をしています。PCR検査の検体を取ることや、抗原検査もできます。CT検査は、院内に移動して撮らせていただきます。

○ケア病床について 今までは、3週間以内で治療を受けて、リハビリは違う病院でという、急性期一般病棟でした。これからは、治療して、リハビリをして家に帰るといふ、入院が長期間できる包括ケア病床にかわり、この病院で完結することができます。訪問診療も積極的に行って、患者さんの負担を軽減しています。

○ここまでは、質問にお答えして頂きましたが、町民の皆さんへ向けて、川岸先生から、一言いただきました。

地域の医師会では、それぞれ専門をもっているんで、勉強会を開いて学び、患者さんを紹介しあって、連携して地域の医療を支えています。函館や札幌などに通院、入院している人でも、診断と治療方針がつけば、ここで治療ができる人もいますので、その患者さんの呼び戻しをしたいと思います。そのために、これから、ここで何ができるかを皆さんに伝えていきたいです。講演会を開き、やっていこうとした矢先、コロナ禍となり、出来ませんでした。変わる方法を考えています。

○お話を伺って、皆さんに伝えたい事を載せましたが、これからも、色々発信をしていきたいと思えます。お話を伺って町民の皆さんが望んでいた病院になっていくと確信をしました。この他に、先生は、中学校、高校にも出向いて、講演をされたそうです。生徒からの、「お医者さんになるためには？」という問いに、「とにかく一生懸命勉強しなさい。」と激励をされたそうです。

(取材者：小川ひとみ)



### ～ 議会の動き ～

#### 10月

- 8日 第3回議会改革活性化推進特別委員会  
iスマイル農産物加工工場落成式
- 9日 広報発行特別委員会
- 12日 檜山広域行政組合議会（江差町）

#### 11月

- 2日 今金町功労者・善行者表彰式
- 25日 全員協議会
- 27日 議会運営委員会・第7回臨時会  
第4回議会改革活性化推進特別委員会

#### 12月

- 1日 総務産業常任委員会（総務・産業グループ）
- 3日 議会運営委員会
- 4日 ピリカスキー場安全祈願祭
- 9日 第4回定例会
- 15日 今金橋 渡橋式
- 17日 第2回北部桧山衛生センター組合議会定例会（せたな町）
- 21日 檜山広域行政組合議会（江差町）

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年、例年と違う新年を迎えられたことと思えます。丑年の意味を調べたら、今の状況に合っていたので、ご紹介します。丑年は、先を急がず一歩一歩着実に、物事を進めることが大切な年だといわれています。牛の大変な農作業をしつかり手伝わてくれる働きぶりから、丑年は、「耐える」「これから発展する前触れ、芽がでる」という年だそうです。希望を持って、しっかり感染対策をして、新しい日常を築いていきたいと思います。今年もよろしくお願いたします。

(小川ひとみ)

広報発行特別委員会  
委員長 向井 孝一  
副委員長 小川ひとみ  
委員 徳田 栄邦  
委員 日置 紳一  
委員 上村 忠